－　－　－

科目区分	全学共通（情報教育系列）						
科目名	WebプログラミングIB						
担当教員	古家　伸一						
学期	後期／2nd　semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2～4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	JavaScriptを用いたwebプログラミングの応用 　この授業では、Webプログラミング IAで学習したJavaScriptを使って、より具体的にクライアントでのwebプログラミングについて学習します。その内容は、以下の通り大きく二つに分けられます。 1. JavaScriptを学習する（応用編） 2. JavaScriptを用いて、クライアントでのwebプログラミングを学習する（応用編）
授業計画 Syllabus	第 1回：授業概要およびパソコン教室利用等の説明 第 2回：動的なweb pageとJavaScriptの概要 第 3回：文字列オブジェクトを利用したweb pageの作成 #1 第 4回：文字列オブジェクトを利用したweb pageの作成 #2 第 5回：時計を利用したweb pageの作成 #1 第 6回：時計を利用したweb pageの作成 #2 第 7回：タイマーを利用したweb pageの作成 #1 第 8回：タイマーを利用したweb pageの作成 #2 第 9回：タイマーを利用したweb pageの作成 #3 第10回：画像オブジェクトを利用したweb pageの作成 #1 第11回：画像オブジェクトを利用したweb pageの作成 #2 第12回：画像オブジェクトを利用したweb pageの作成 #3 第13回：非同期通信を利用したweb pageの作成 #1 第14回：非同期通信を利用したweb pageの作成 #2 第15回：非同期通信を利用したweb pageの作成 #3 　なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用web page上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習と講義
評価方法 Evaluation	平常点（小テストを含む）50%、提出物 50%
履修上の注意 Requirements and policy	Webプログラミング IAの履修者、またはそれに相当する学生を対象とします。授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用web page上の教材や授業中に配布したプリントなどを使って欠席した授業の内容を必ず自習しておくこと。なお、評価は出席回数を重視します。
教科書 Textbook(s)	教科書の指定はありません。必要に応じてプリントや授業用web page上のオンラインテキストを使用しますが、HTML、CSSおよびJavaScriptの言語辞典を準備するのが望ましい。
参考書 Reference(s)	授業中および授業用web pageで紹介します。
備考 Remarks	

- - -

科目区分	全学共通（情報教育系列）
科目名	WebプログラミングIIB
担当教員	稲澤　弘志

学期	後期／2nd　semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2～4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	Perlプログラミング演習（ホームページでの利用） この授業では 前期のＷｅｂプログラミングⅡＡで学習したプログラミング手法を使った演習主体の授業となります。演習では、クライアント（ブラウザ）とWebサーバー（Webサイトでホームページを管理しているプログラム）とのデータのやり取りに関するいろいろな例題をとりあげます。この演習によってホームページにおいてPerl（パール）を活用する力を養うことを目指します。
授業計画 Syllabus	［第１講］　授業ガイダンス：授業の目標と進め方　＆　Perlの基礎知識について ［第２講］　環境変数・時間関数・split関数とアクセスログプログラムについて ［第３講］　Webページによるアクセスログプログラムの仕組み ［第４講］　アクセスログプログラムの作成 ［第５講］　まとめとプログラム作成１（小テスト） ［第６講］　Webによる資料申込プログラムの仕組み１ ［第７講］　Webによる資料申込プログラムの仕組み２ ［第８講］　Webによる資料申込プログラムの仕組み３ ［第９講］　資料申込プログラムの作成１－申込フォーム（HTMLプログラム） ［第１０講］　資料申込プログラムの作成２－処理プログラム（Perlプログラム） ［第１１講］　資料申込プログラムの作成３－処理プログラム（Perlプログラム） ［第１２講］　まとめとプログラム作成２（小テスト） ［第１３講］　Webによるメールマガジン申込システムの作成１ ―申込みフォームと処理プログラムを１つのファイルで処理― ［第１４講］　Webによるメールマガジン申込システムの作成２ ―申込みフォームと処理プログラムを１つのファイルで処理― ［第１５講］　Webによるメールマガジン申込システムの作成３ ―申込みフォームと処理プログラムを１つのファイルで処理－
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	講義と実習
評価方法 Evaluation	小テストとプログラミングテストが合計で40%、平常点が60% なお、欠席した場合は、欠席回数に応じて平常点が減点されます。
履修上の注意 Requirements and policy	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用 Web Page 上の教材や授業中に配布したプリントなどを使って欠席した授業の内容を必ず自習しておいてください。なお、評価は出席回数を重視します。 なお、この授業は原則的にはＷｅｂプログラミングⅡＡを履修した方に対する演習の授業として行われますが、Perlを用いて簡単なプログラムを作れる方の履修も可能です。
教科書 Textbook(s)	教科書は使用しません。教材は授業用の Web Page によって提供されます。
参考書 Reference(s)	Perl入門　第２版－スクリプト作成の基礎からCGIまで　：　エリー・クイグリー　（訳：武舎広幸・河村政雄）：　ピアソン・エデュケーション 10日でおぼえるPerl/CGI入門教室　第２版：　高橋大吾　：　翔泳社 詳解　HTML & CSS & JavaScript辞典　第３版　：　大藤　幹・半場方人　：　秀和システム
備考 Remarks	

－　－　－

科目区分	全学共通（情報教育系列）							
科目名	Webリテラシー B／稲澤　弘志							
担当教員	稲澤　弘志							
学期	後期／2nd　semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1～4	単位数	1.0	

授業の目的、概要 Objectives and content	Webによる情報発信（応用） 　文字情報を表示することから始まったweb pageは画像が表示できるようになったことで飛躍的に利用が拡大し、現在ではさまざまなコンテンツがweb上で利用できるようになっています。その中でweb pageのコンテンツに動きを与えるFlashは広く利用されています。この授業ではFlashの基本操作やweb pageにおける利用方法について学習します。
授業計画 Syllabus	第１回：授業ガイダンス：授業の目標と進め方 第２回：ウォーミングアップ－練習問題１ & 練習問題２ & オンライン小テスト 第３回：Flashの基本的な操作方法と動画作成１ 第４回：Flashによる動画のホームページでの利用 & 演習問題１（Flash）：Ｅメールで提出 第５回：Flashによる動画作成２ & 複数のFlashファイルのWebページでの利用 & オンライン小テスト 第６回：演習問題２（Flash）：Ｅメールで提出 第７回：練習問題　：　処理する問題について　：　Flashによる動画作成３ 第８回：演習問題３（Flash）：Ｅメールで提出 第９回：Flashによる動画作成４ 第１０回：Flashによる動画作成５ 第１１回：演習問題４（Flash）：Ｅメールで提出 第１２回：WebページでのVideoデータの利用 第１３回：Action Script－マウスイベント処理１：（地図データ：拡大縮小・ドラッグ）& オンライン小テスト 第１４回：Action Script－マウスイベント処理２：（地図データ：拡大縮小・ドラッグ） 第１５回：Action Script－マウスイベント処理３：（地図データ：拡大縮小・ドラッグ）
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習と講義
評価方法 Evaluation	平常点（小テストを含む）55%、提出物 45%
履修上の注意 Requirements and policy	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用web page上の教材や授業中に配布したプリントなどを使って欠席した授業の内容を必ず自習しておくこと。なお、評価は出席回数を重視します。
教科書 Textbook(s)	教科書の指定はありません。必要に応じてプリントや授業用web page上のオンラインテキストを使用します。
参考書 Reference(s)	授業中および授業用web page上で紹介します。
備考 Remarks	

-　-　-

科目区分	全学共通（情報教育系列）						
科目名	Webリテラシー B／古家　伸一						
担当教員	古家　伸一						
学期	後期／2nd　semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1～4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	Webによる情報発信（応用） 　文字情報を表示することから始まったweb pageは画像が表示できるようになったことで飛躍的に利用が拡大し、現在ではさまざまなコンテンツがweb上で利用できるようになっています。その中でweb pageのコンテンツに動きを与えるFlashは広く利用されています。この授業ではFlashの基本操作やweb pageにおける利用方法について学習します。
授業計画 Syllabus	第 1回：授業概要および講義を進めるための準備・設定等 第 2回：イメージマップを利用したweb pageの作成 第 3回：音や動画を利用したweb pageの作成 第 4回：Flashを利用したweb pageの作成 第 5回：Flash作成ソフトによる描画、フレーム、レイヤー 第 6回：モーショントゥイーン 第 7回：シェイプトゥイーン 第 8回：分解、レイヤーへの配分 第 9回：Flashを用いた作品の作成と提出 #1 第10回：シンボル（グラフィック）の作成 第11回：シンボル（ボタン）の作成 第12回：写真やビデオの利用 第13回：シンボル（ムービークリップ）の作成 第14回：イベント、アクションの設定 第15回：Flashを用いた作品の作成と提出 #2 　なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用web page上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習と講義
評価方法 Evaluation	平常点（小テストを含む）55%、提出物 45%
履修上の注意 Requirements and policy	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用web page上の教材や授業中に配布したプリントなどを使って欠席した授業の内容を必ず自習しておくこと。なお、評価は出席回数を重視します。
教科書 Textbook(s)	教科書の指定はありません。必要に応じてプリントや授業用web page上のオンラインテキストを使用します。
参考書 Reference(s)	授業中および授業用web page上で紹介します。
備考 Remarks	

－　－　－

科目区分	全学共通（情報教育系列）
科目名	コンピュータグラフィックスとアートB
担当教員	坂田　岳彦

学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1～4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	Macintosh版Photoshopによるビジュアルリテラシーの応用 コンピュータグラフィックスとアートA（Macintosh版Illustrator）で得たビジュアルリテラシーを応用して、「Illustrator」および「Photoshop」を習得をしながら、ビジュアルコミュニケーションの基本形式であるポスターデザインの実習を行います。 ●文字を主体とするタイポグラフィデザインで構成するポスター ●アイキャッチイメージとしてピクトグラムを活用したポスター ●写真などの図像を効果的に構成したポスター プロ仕様のグラフィックソフトを活用しながら、ビジュアルコミュニケーションデザインの最も基本的な形式であるポスターデザインを試みることで、専門のデザイナーではなくとも、充分に効果的で魅力的なデザインが実現できることを目標とします。
授業計画 Syllabus	1：オリエンテーション 2：Illustratorの基本操作（復習）　-四字熟語によるタイポグラフィ構成 3：Photoshopの基本操作１　-レイヤーの概念、テキストレイヤーの操作 4：Photoshopの基本操作２　-レイヤースタイルによるロゴの装飾 5：タイポグラフィデザインで構成するポスター１ 6：タイポグラフィデザインで構成するポスター２ 7：タイポグラフィデザインで構成するポスター３ 8：ピクトグラムを活用したポスター１ 9：ピクトグラムを活用したポスター２ 10：ピクトグラムを活用したポスター３ 11：Photoshopの基本操作３　-画像のイメージ処理 12：図像を効果的に構成したポスター１ 13：図像を効果的に構成したポスター２ 14：図像を効果的に構成したポスター３ 15：講評
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習と講義
評価方法 Evaluation	平常点70%　提出物30%　欠席した場合は減点
履修上の注意 Requirements and policy	この授業はMacintoshを用いて行います。コンピュータグラフィックスとアートA（Macintosh版Illustrator）の履修を前提とします。普段から印象的な、普段から印象的な、あるいは好みのポスターなど参考例を収集し参考にしてください。
教科書 Textbook(s)	プリントを配布します。
参考書 Reference(s)	授業中に紹介します。
備考 Remarks	

\-　　-　　-

科目区分	全学共通（情報教育系列）						
科目名	コンピュータグラフィックスとアートB						
担当教員	坂田　岳彦						
学期	後期／2nd　semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	1～4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	Windows版Gimpによるビジュアルリテラシーの応用 コンピュータグラフィックスとアートA（Windows版Word）で得たビジュアルリテラシーを応用して、画像処理ソフト「Gimp」を習得しながら、ビジュアルコミュニケーションの基本形式であるポスターデザインの実習を行います。 ●文字を主体とするタイポグラフィデザインで構成するポスター ●アイキャッチイメージとしてピクトグラムを活用したポスター ●写真などの画像を効果的に構成したポスター グラフィックソフトを活用しながら、ビジュアルコミュニケーションデザインの最も基本的な形式であるポスターデザインを試みることで、専門のデザイナーではなくとも、充分に効果的で魅力的なデザインが実現できることを目標とします。
授業計画 Syllabus	1：オリエンテーション 2：Wordの基本操作（復習）　-四字熟語によるタイポグラフィ構成 3：Gimpの基本操作１　-レイヤーの概念、テキストレイヤーの操作 4：Gimpの基本操作２　-レイヤースタイルによるロゴの装飾 5：タイポグラフィデザインで構成するポスター１ 6：タイポグラフィデザインで構成するポスター２ 7：タイポグラフィデザインで構成するポスター３ 8：ピクトグラムを活用したポスター１ 9：ピクトグラムを活用したポスター２ 10：ピクトグラムを活用したポスター３ 11：Gimpの基本操作３　-画像のイメージ処理 12：画像を効果的に構成したポスター１ 13：画像を効果的に構成したポスター２ 14：画像を効果的に構成したポスター３ 15：講評
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習と講義
評価方法 Evaluation	平常点70%　提出物30%　欠席した場合は減点
履修上の注意 Requirements and policy	この授業はWindowsパソコンの画像処理ソフトを用いて行います。そのため、コンピュータグラフィックスとアートA（Windows版Word）の履修を前提とします。普段から印象的な、あるいは好みのポスターなど参考例を収集し参考にしてください。
教科書 Textbook(s)	プリントを配布します。
参考書 Reference(s)	授業中に紹介します。
備考 Remarks	

－　　－　　－

科目区分	全学共通（情報教育系列）
科目名	情報リテラシーB／情報リテラシーII
担当教員	稲澤　弘志

学期	後期／2nd　semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	1～4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	パソコンの活用（応用） 　この授業では、講義と実習を通して情報リテラシーAで習得した基礎能力を踏まえて、さらに高度あるいは複雑な資料や作品を仕上げ、分析していく応用能力を身につけることを目指します。
授業計画 Syllabus	第 1回：授業概要およびパソコン教室利用等の説明 第 2回：ワードプロセッサ（Word）#1・スタイルと書式 第 3回：Word #2・長編レポート作成 第 4回：Word #3・論文作成 第 5回：Word #4・演習作品の作成と提出 第 6回：表計算ソフト（Excel）#1・データと書式 第 7回：Excel #2・日付と時刻の管理 第 8回：Excel #3・データの検索、抽出 第 9回：Excel #4・データの集計と分析 第10回：Excel #5・簡単なデータベースの作成と利用 第11回：Excel #6・演習作品の作成と提出 第12回：ExcelとWordの連携 第13回：Excelとプレゼンテーションソフト（PowerPoint）の連携 第14回：Excelで作成したデータをWordやPowerPointにまとめた演習作品の作成と提出 第15回：インターネットへの公開と基本的留意事項 　なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用web page上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習と講義
評価方法 Evaluation	平常点（小テストを含む）55%、提出物 45%
履修上の注意 Requirements and policy	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用web page上の教材や授業中に配布したプリントなどを使って欠席した授業の内容を必ず自習しておくこと。なお、評価は出席回数を重視します。
教科書 Textbook(s)	教科書の指定はありません。必要に応じてプリントや授業用web page上のオンラインテキストを使用します。
参考書 Reference(s)	授業中および授業用web page上で紹介します。
備考 Remarks	

－　－　－

科目区分	全学共通（情報教育系列）						
科目名	情報リテラシーB／情報リテラシーII						
担当教員	稲澤　弘志						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1～4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	パソコンの活用（応用） 　この授業では、講義と実習を通して情報リテラシーAで習得した基礎能力を踏まえて、さらに高度あるいは複雑な資料や作品を仕上げ、分析していく応用能力を身につけることを目指します。
授業計画 Syllabus	第 1回：授業概要およびパソコン教室利用等の説明 第 2回：ワードプロセッサ（Word）#1・スタイルと書式 第 3回：Word #2・長編レポート作成 第 4回：Word #3・論文作成 第 5回：Word #4・演習作品の作成と提出 第 6回：表計算ソフト（Excel）#1・データと書式 第 7回：Excel #2・日付と時刻の管理 第 8回：Excel #3・データの検索、抽出 第 9回：Excel #4・データの集計と分析 第10回：Excel #5・簡単なデータベースの作成と利用 第11回：Excel #6・演習作品の作成と提出 第12回：ExcelとWordの連携 第13回：Excelとプレゼンテーションソフト（PowerPoint）の連携 第14回：Excelで作成したデータをWordやPowerPointにまとめた演習作品の作成と提出 第15回：インターネットへの公開と基本的留意事項 　なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用web page上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習と講義
評価方法 Evaluation	平常点（小テストを含む）55%、提出物 45%
履修上の注意 Requirements and policy	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用web page上の教材や授業中に配布したプリントなどを使って欠席した授業の内容を必ず自習しておくこと。なお、評価は出席回数を重視します。
教科書 Textbook(s)	教科書の指定はありません。必要に応じてプリントや授業用web page上のオンラインテキストを使用します。
参考書 Reference(s)	授業中および授業用web page上で紹介します。
備考 Remarks	

－　－　－

科目区分	全学共通（情報教育系列）						
科目名	情報リテラシーB／情報リテラシーII						
担当教員	稲澤　弘志						
学期	後期／2nd　semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1～4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	パソコンの活用（応用） 　この授業では、講義と実習を通して情報リテラシーAで習得した基礎能力を踏まえて、さらに高度あるいは複雑な資料や作品を仕上げ、分析していく応用能力を身につけることを目指します。
授業計画 Syllabus	第 1回：授業概要およびパソコン教室利用等の説明 第 2回：ワードプロセッサ（Word）#1・スタイルと書式 第 3回：Word #2・長編レポート作成 第 4回：Word #3・論文作成 第 5回：Word #4・演習作品の作成と提出 第 6回：表計算ソフト（Excel）#1・データと書式 第 7回：Excel #2・日付と時刻の管理 第 8回：Excel #3・データの検索、抽出 第 9回：Excel #4・データの集計と分析 第10回：Excel #5・簡単なデータベースの作成と利用 第11回：Excel #6・演習作品の作成と提出 第12回：ExcelとWordの連携 第13回：Excelとプレゼンテーションソフト（PowerPoint）の連携 第14回：Excelで作成したデータをWordやPowerPointにまとめた演習作品の作成と提出 第15回：インターネットへの公開と基本的留意事項 　なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用web page上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習と講義
評価方法 Evaluation	平常点（小テストを含む）55%、提出物 45%
履修上の注意 Requirements and policy	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用web page上の教材や授業中に配布したプリントなどを使って欠席した授業の内容を必ず自習しておくこと。なお、評価は出席回数を重視します。
教科書 Textbook(s)	教科書の指定はありません。必要に応じてプリントや授業用web page上のオンラインテキストを使用します。
参考書 Reference(s)	授業中および授業用web page上で紹介します。
備考 Remarks	

\-　　-　　-

科目区分	全学共通（情報教育系列）						
科目名	情報リテラシーB／情報リテラシーII						
担当教員	片山　修						
学期	後期／2nd　semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1～4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	パソコンの活用（応用） この授業では、講義と実習を通して情報リテラシーAで習得した基礎能力を踏まえて、さらに高度あるいは複雑な資料や作品を仕上げ、分析していく応用能力を身につけることを目指します。
授業計画 Syllabus	第 1回：授業概要およびパソコン教室利用等の説明 第 2回：ワードプロセッサ（Word）#1・スタイルと書式 第 3回：Word #2・長編レポート作成 第 4回：Word #3・論文作成 第 5回：Word #4・演習作品の作成と提出 第 6回：表計算ソフト（Excel）#1・データと書式 第 7回：Excel #2・日付と時刻の管理 第 8回：Excel #3・データの検索、抽出 第 9回：Excel #4・データの集計と分析 第10回：Excel #5・簡単なデータベースの作成と利用 第11回：Excel #6・演習作品の作成と提出 第12回：ExcelとWordの連携 第13回：Excelとプレゼンテーションソフト（PowerPoint）の連携 第14回：Excelで作成したデータをWordやPowerPointにまとめた演習作品の作成と提出 第15回：インターネットへの公開と基本的留意事項 なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用web page上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習と講義
評価方法 Evaluation	平常点（小テストを含む）55%、提出物 45%
履修上の注意 Requirements and policy	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用web page上の教材や授業中に配布したプリントなどを使って欠席した授業の内容を必ず自習しておくこと。なお、評価は出席回数を重視します。
教科書 Textbook(s)	教科書の指定はありません。必要に応じてプリントや授業用web page上のオンラインテキストを使用します。
参考書 Reference(s)	授業中および授業用web page上で紹介します。
備考 Remarks	

-　-　-

科目区分	全学共通（情報教育系列）							
科目名	情報リテラシーB／情報リテラシーII							
担当教員	片山　修							
学期	後期／2nd　semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	1～4	単位数	1.0	

授業の目的、概要 Objectives and content	パソコンの活用（応用） この授業では、講義と実習を通して情報リテラシーAで習得した基礎能力を踏まえて、さらに高度あるいは複雑な資料や作品を仕上げ、分析していく応用能力を身につけることを目指します。
授業計画 Syllabus	第 1回：授業概要およびパソコン教室利用等の説明 第 2回：ワードプロセッサ（Word）#1・スタイルと書式 第 3回：Word #2・長編レポート作成 第 4回：Word #3・論文作成 第 5回：Word #4・演習作品の作成と提出 第 6回：表計算ソフト（Excel）#1・データと書式 第 7回：Excel #2・日付と時刻の管理 第 8回：Excel #3・データの検索、抽出 第 9回：Excel #4・データの集計と分析 第10回：Excel #5・簡単なデータベースの作成と利用 第11回：Excel #6・演習作品の作成と提出 第12回：ExcelとWordの連携 第13回：Excelとプレゼンテーションソフト（PowerPoint）の連携 第14回：Excelで作成したデータをWordやPowerPointにまとめた演習作品の作成と提出 第15回：インターネットへの公開と基本的留意事項 なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用web page上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習と講義
評価方法 Evaluation	平常点（小テストを含む）55%、提出物 45%
履修上の注意 Requirements and policy	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用web page上の教材や授業中に配布したプリントなどを使って欠席した授業の内容を必ず自習しておくこと。なお、評価は出席回数を重視します。
教科書 Textbook(s)	教科書の指定はありません。必要に応じてプリントや授業用web page上のオンラインテキストを使用します。
参考書 Reference(s)	授業中および授業用web page上で紹介します。
備考 Remarks	

\-　　-　　-

科目区分	全学共通（情報教育系列）						
科目名	情報リテラシーB／情報リテラシーII						
担当教員	片山　修						
学期	後期／2nd　semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	1～4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	パソコンの活用（応用） 　この授業では、講義と実習を通して情報リテラシーAで習得した基礎能力を踏まえて、さらに高度あるいは複雑な資料や作品を仕上げ、分析していく応用能力を身につけることを目指します。
授業計画 Syllabus	第 1回：授業概要およびパソコン教室利用等の説明 第 2回：ワードプロセッサ（Word）#1・スタイルと書式 第 3回：Word #2・長編レポート作成 第 4回：Word #3・論文作成 第 5回：Word #4・演習作品の作成と提出 第 6回：表計算ソフト（Excel）#1・データと書式 第 7回：Excel #2・日付と時刻の管理 第 8回：Excel #3・データの検索、抽出 第 9回：Excel #4・データの集計と分析 第10回：Excel #5・簡単なデータベースの作成と利用 第11回：Excel #6・演習作品の作成と提出 第12回：ExcelとWordの連携 第13回：Excelとプレゼンテーションソフト（PowerPoint）の連携 第14回：Excelで作成したデータをWordやPowerPointにまとめた演習作品の作成と提出 第15回：インターネットへの公開と基本的留意事項 　なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用web page上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習と講義
評価方法 Evaluation	平常点（小テストを含む）55%、提出物 45%
履修上の注意 Requirements and policy	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用web page上の教材や授業中に配布したプリントなどを使って欠席した授業の内容を必ず自習しておくこと。なお、評価は出席回数を重視します。
教科書 Textbook(s)	教科書の指定はありません。必要に応じてプリントや授業用web page上のオンラインテキストを使用します。
参考書 Reference(s)	授業中および授業用web page上で紹介します。
備考 Remarks	

－　　－　　－

科目区分	全学共通（情報教育系列）						
科目名	情報リテラシーB／情報リテラシーII						
担当教員	住　淳一						
学期	後期／2nd　semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1～4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	パソコンの活用（応用） この授業では、講義と実習を通して情報リテラシーAで習得した基礎能力を踏まえて、さらに高度あるいは複雑な資料や作品を仕上げ、分析していく応用能力を身につけることを目指します。
授業計画 Syllabus	第 1回：講義の概要について 第 2回：Excelのデータベース機能 #1・データの抽出、集計 第 3回：Excelのデータベース機能 #2・データベース関数 第 4回：ピボットテーブルを使ったクロス集計 第 5回：演習作品の作成と提出 第 6回：簡単なシミュレーション #1・基本的な説明 第 7回：簡単なシミュレーション #2・具体例 第 8回：簡単なシミュレーション #3・資料作成 第 9回：演習作品の作成と提出 第10回：データの抽出 #1・VLOOKUP関数の解説 第11回：データの抽出 #2・VLOOKUP関数の応用例 第12回：演習作品の作成と提出 第13回：日付や時刻を扱う関数 第14回：演習・万年カレンダーの作成 第15回：演習作品の作成と提出 なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用web page上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習と講義
評価方法 Evaluation	平常点（小テストを含む）55%、提出物 45%
履修上の注意 Requirements and policy	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用web page上の教材や授業中に配布したプリントなどを使って欠席した授業の内容を必ず自習しておくこと。なお、評価は出席回数を重視します。
教科書 Textbook(s)	教科書の指定はありません。必要に応じてプリントや授業用web page上のオンラインテキストを使用します。
参考書 Reference(s)	授業中および授業用web page上で紹介します。
備考 Remarks	

科目区分	全学共通（情報教育系列）						
科目名	情報リテラシーB／情報リテラシーII						
担当教員	住　淳一						
学期	後期／2nd　semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	1～4	単位数	1.0

項目	内容
授業の目的、概要 Objectives and content	パソコンの活用（応用） 　この授業では、講義と実習を通して情報リテラシーAで習得した基礎能力を踏まえて、さらに高度あるいは複雑な資料や作品を仕上げ、分析していく応用能力を身につけることを目指します。
授業計画 Syllabus	第 1回：講義の概要について 第 2回：Excelのデータベース機能 #1・データの抽出、集計 第 3回：Excelのデータベース機能 #2・データベース関数 第 4回：ピボットテーブルを使ったクロス集計 第 5回：演習作品の作成と提出 第 6回：簡単なシミュレーション #1・基本的な説明 第 7回：簡単なシミュレーション #2・具体例 第 8回：簡単なシミュレーション #3・資料作成 第 9回：演習作品の作成と提出 第10回：データの抽出 #1・VLOOKUP関数の解説 第11回：データの抽出 #2・VLOOKUP関数の応用例 第12回：演習作品の作成と提出 第13回：日付や時刻を扱う関数 第14回：演習・万年カレンダーの作成 第15回：演習作品の作成と提出 　なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用web page上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習と講義
評価方法 Evaluation	平常点（小テストを含む）55%、提出物 45%
履修上の注意 Requirements and policy	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用web page上の教材や授業中に配布したプリントなどを使って欠席した授業の内容を必ず自習しておくこと。なお、評価は出席回数を重視します。
教科書 Textbook(s)	教科書の指定はありません。必要に応じてプリントや授業用web page上のオンラインテキストを使用します。
参考書 Reference(s)	授業中および授業用web page上で紹介します。
備考 Remarks	

－　－　－

科目区分	全学共通（情報教育系列）						
科目名	情報リテラシーB／情報リテラシーII						
担当教員	住　淳一						
学期	後期／2nd　semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1～4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	パソコンの活用（応用） 　この授業では、講義と実習を通して情報リテラシーAで習得した基礎能力を踏まえて、さらに高度あるいは複雑な資料や作品を仕上げ、分析していく応用能力を身につけることを目指します。
授業計画 Syllabus	第 1回：講義の概要について 第 2回：Excelのデータベース機能 #1・データの抽出、集計 第 3回：Excelのデータベース機能 #2・データベース関数 第 4回：ピボットテーブルを使ったクロス集計 第 5回：演習作品の作成と提出 第 6回：簡単なシミュレーション #1・基本的な説明 第 7回：簡単なシミュレーション #2・具体例 第 8回：簡単なシミュレーション #3・資料作成 第 9回：演習作品の作成と提出 第10回：データの抽出 #1・VLOOKUP関数の解説 第11回：データの抽出 #2・VLOOKUP関数の応用例 第12回：演習作品の作成と提出 第13回：日付や時刻を扱う関数 第14回：演習・万年カレンダーの作成 第15回：演習作品の作成と提出 　なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用web page上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習と講義
評価方法 Evaluation	平常点（小テストを含む）55%、提出物 45%
履修上の注意 Requirements and policy	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用web page上の教材や授業中に配布したプリントなどを使って欠席した授業の内容を必ず自習しておくこと。なお、評価は出席回数を重視します。
教科書 Textbook(s)	教科書の指定はありません。必要に応じてプリントや授業用web page上のオンラインテキストを使用します。
参考書 Reference(s)	授業中および授業用web page上で紹介します。
備考 Remarks	

－　－　－

科目区分	全学共通（情報教育系列）						
科目名	情報リテラシーB／情報リテラシーII						
担当教員	住　淳一						
学期	後期／2nd　semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1～4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	パソコンの活用（応用） 　この授業では、講義と実習を通して情報リテラシーAで習得した基礎能力を踏まえて、さらに高度あるいは複雑な資料や作品を仕上げ、分析していく応用能力を身につけることを目指します。
授業計画 Syllabus	第 1回：講義の概要について 第 2回：Excelのデータベース機能 #1・データの抽出、集計 第 3回：Excelのデータベース機能 #2・データベース関数 第 4回：ピボットテーブルを使ったクロス集計 第 5回：演習作品の作成と提出 第 6回：簡単なシミュレーション #1・基本的な説明 第 7回：簡単なシミュレーション #2・具体例 第 8回：簡単なシミュレーション #3・資料作成 第 9回：演習作品の作成と提出 第10回：データの抽出 #1・VLOOKUP関数の解説 第11回：データの抽出 #2・VLOOKUP関数の応用例 第12回：演習作品の作成と提出 第13回：日付や時刻を扱う関数 第14回：演習・万年カレンダーの作成 第15回：演習作品の作成と提出 　なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用web page上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習と講義
評価方法 Evaluation	平常点（小テストを含む）55%、提出物 45%
履修上の注意 Requirements and policy	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用web page上の教材や授業中に配布したプリントなどを使って欠席した授業の内容を必ず自習しておくこと。なお、評価は出席回数を重視します。
教科書 Textbook(s)	教科書の指定はありません。必要に応じてプリントや授業用web page上のオンラインテキストを使用します。
参考書 Reference(s)	授業中および授業用web page上で紹介します。
備考 Remarks	

-　　-　　-

科目区分	全学共通（情報教育系列）
科目名	情報リテラシーB／情報リテラシーII
担当教員	住　淳一

学期	後期／2nd　semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	1～4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	パソコンの活用（応用） この授業では、講義と実習を通して情報リテラシーAで習得した基礎能力を踏まえて、さらに高度あるいは複雑な資料や作品を仕上げ、分析していく応用能力を身につけることを目指します。
授業計画 Syllabus	第 1回：講義の概要について 第 2回：Excelのデータベース機能 #1・データの抽出、集計 第 3回：Excelのデータベース機能 #2・データベース関数 第 4回：ピボットテーブルを使ったクロス集計 第 5回：演習作品の作成と提出 第 6回：簡単なシミュレーション #1・基本的な説明 第 7回：簡単なシミュレーション #2・具体例 第 8回：簡単なシミュレーション #3・資料作成 第 9回：演習作品の作成と提出 第10回：データの抽出 #1・VLOOKUP関数の解説 第11回：データの抽出 #2・VLOOKUP関数の応用例 第12回：演習作品の作成と提出 第13回：日付や時刻を扱う関数 第14回：演習・万年カレンダーの作成 第15回：演習作品の作成と提出 なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用web page上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習と講義
評価方法 Evaluation	平常点（小テストを含む）55%、提出物 45%
履修上の注意 Requirements and policy	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用web page上の教材や授業中に配布したプリントなどを使って欠席した授業の内容を必ず自習しておくこと。なお、評価は出席回数を重視します。
教科書 Textbook(s)	教科書の指定はありません。必要に応じてプリントや授業用web page上のオンラインテキストを使用します。
参考書 Reference(s)	授業中および授業用web page上で紹介します。
備考 Remarks	

－　－　－

科目区分	全学共通（情報教育系列）						
科目名	情報リテラシーB／情報リテラシーII						
担当教員	平松　治彦						
学期	後期／2nd　semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1～4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	パソコンの活用（応用） 　この授業では、講義と実習を通して情報リテラシーAで習得した基礎能力を踏まえて、さらに高度あるいは複雑な資料や作品を仕上げ、分析していく応用能力を身につけることを目指します。
授業計画 Syllabus	第 1回：授業概要およびパソコン教室利用等の説明 第 2回：ワードプロセッサ（Word）#1・スタイルと書式 第 3回：Word #2・長編レポート作成 第 4回：Word #3・論文作成 第 5回：Word #4・演習作品の作成と提出 第 6回：表計算ソフト（Excel）#1・データと書式 第 7回：Excel #2・日付と時刻の管理 第 8回：Excel #3・データの検索、抽出 第 9回：Excel #4・データの集計と分析 第10回：Excel #5・簡単なデータベースの作成と利用 第11回：Excel #6・演習作品の作成と提出 第12回：ExcelとWordの連携 第13回：Excelとプレゼンテーションソフト（PowerPoint）の連携 第14回：Excelで作成したデータをWordやPowerPointにまとめた演習作品の作成と提出 第15回：インターネットへの公開と基本的留意事項 　なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用web page上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習と講義
評価方法 Evaluation	平常点（小テストを含む）55%、提出物 45%
履修上の注意 Requirements and policy	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用web page上の教材や授業中に配布したプリントなどを使って欠席した授業の内容を必ず自習しておくこと。なお、評価は出席回数を重視します。
教科書 Textbook(s)	教科書の指定はありません。必要に応じてプリントや授業用web page上のオンラインテキストを使用します。
参考書 Reference(s)	授業中および授業用web page上で紹介します。
備考 Remarks	

－　　－　　－

科目区分	全学共通（情報教育系列）
科目名	情報リテラシーB／情報リテラシーII
担当教員	平松　治彦

学期	後期／2nd　semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	1～4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	パソコンの活用（応用） 　この授業では、講義と実習を通して情報リテラシーAで習得した基礎能力を踏まえて、さらに高度あるいは複雑な資料や作品を仕上げ、分析していく応用能力を身につけることを目指します。
授業計画 Syllabus	第 1回：授業概要およびパソコン教室利用等の説明 第 2回：ワードプロセッサ（Word）#1・スタイルと書式 第 3回：Word #2・長編レポート作成 第 4回：Word #3・論文作成 第 5回：Word #4・演習作品の作成と提出 第 6回：表計算ソフト（Excel）#1・データと書式 第 7回：Excel #2・日付と時刻の管理 第 8回：Excel #3・データの検索、抽出 第 9回：Excel #4・データの集計と分析 第10回：Excel #5・簡単なデータベースの作成と利用 第11回：Excel #6・演習作品の作成と提出 第12回：ExcelとWordの連携 第13回：Excelとプレゼンテーションソフト（PowerPoint）の連携 第14回：Excelで作成したデータをWordやPowerPointにまとめた演習作品の作成と提出 第15回：インターネットへの公開と基本的留意事項 　なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用web page上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習と講義
評価方法 Evaluation	平常点（小テストを含む）55%、提出物 45%
履修上の注意 Requirements and policy	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用web page上の教材や授業中に配布したプリントなどを使って欠席した授業の内容を必ず自習しておくこと。なお、評価は出席回数を重視します。
教科書 Textbook(s)	教科書の指定はありません。必要に応じてプリントや授業用web page上のオンラインテキストを使用します。
参考書 Reference(s)	授業中および授業用web page上で紹介します。
備考 Remarks	

－　　－　　－

科目区分	全学共通（情報教育系列）						
科目名	情報リテラシーB／情報リテラシーII						
担当教員	古家　伸一						
学期	後期／2nd　semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1～4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	パソコンの活用（応用） 　この授業では、講義と実習を通して情報リテラシーAで習得した基礎能力を踏まえて、さらに高度あるいは複雑な資料や作品を仕上げ、分析していく応用能力を身につけることを目指します。
授業計画 Syllabus	第 1回：授業概要およびパソコン教室利用等の説明 第 2回：ワードプロセッサ（Word）#1・スタイルと書式 第 3回：Word #2・長編レポート作成 第 4回：Word #3・論文作成 第 5回：Word #4・演習作品の作成と提出 第 6回：表計算ソフト（Excel）#1・データと書式 第 7回：Excel #2・日付と時刻の管理 第 8回：Excel #3・データの検索、抽出 第 9回：Excel #4・データの集計と分析 第10回：Excel #5・簡単なデータベースの作成と利用 第11回：Excel #6・演習作品の作成と提出 第12回：ExcelとWordの連携 第13回：Excelとプレゼンテーションソフト（PowerPoint）の連携 第14回：Excelで作成したデータをWordやPowerPointにまとめた演習作品の作成と提出 第15回：インターネットへの公開と基本的留意事項 　なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用web page上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習と講義
評価方法 Evaluation	平常点（小テストを含む）55%、提出物 45%
履修上の注意 Requirements and policy	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用web page上の教材や授業中に配布したプリントなどを使って欠席した授業の内容を必ず自習しておくこと。なお、評価は出席回数を重視します。
教科書 Textbook(s)	教科書の指定はありません。必要に応じてプリントや授業用web page上のオンラインテキストを使用します。
参考書 Reference(s)	授業中および授業用web page上で紹介します。
備考 Remarks	

－　－　－

科目区分	全学共通（情報教育系列）
科目名	情報リテラシーB／情報リテラシーII
担当教員	古家　伸一

学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	1〜4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	パソコンの活用（応用） 　この授業では、講義と実習を通して情報リテラシーAで習得した基礎能力を踏まえて、さらに高度あるいは複雑な資料や作品を仕上げ、分析していく応用能力を身につけることを目指します。
授業計画 Syllabus	第 1回：授業概要およびパソコン教室利用等の説明 第 2回：ワードプロセッサ（Word）#1・スタイルと書式 第 3回：Word #2・長編レポート作成 第 4回：Word #3・論文作成 第 5回：Word #4・演習作品の作成と提出 第 6回：表計算ソフト（Excel）#1・データと書式 第 7回：Excel #2・日付と時刻の管理 第 8回：Excel #3・データの検索、抽出 第 9回：Excel #4・データの集計と分析 第10回：Excel #5・簡単なデータベースの作成と利用 第11回：Excel #6・演習作品の作成と提出 第12回：ExcelとWordの連携 第13回：Excelとプレゼンテーションソフト（PowerPoint）の連携 第14回：Excelで作成したデータをWordやPowerPointにまとめた演習作品の作成と提出 第15回：インターネットへの公開と基本的留意事項 　なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用web page上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習と講義
評価方法 Evaluation	平常点（小テストを含む）55%、提出物 45%
履修上の注意 Requirements and policy	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用web page上の教材や授業中に配布したプリントなどを使って欠席した授業の内容を必ず自習しておくこと。なお、評価は出席回数を重視します。
教科書 Textbook(s)	教科書の指定はありません。必要に応じてプリントや授業用web page上のオンラインテキストを使用します。
参考書 Reference(s)	授業中および授業用web page上で紹介します。
備考 Remarks	

-　-　-

科目区分	全学共通（情報教育系列）						
科目名	情報リテラシーB／情報リテラシーII						
担当教員	古家　伸一						
学期	後期／2nd　semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1～4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	パソコンの活用（応用） 　この授業では、講義と実習を通して情報リテラシーAで習得した基礎能力を踏まえて、さらに高度あるいは複雑な資料や作品を仕上げ、分析していく応用能力を身につけることを目指します。
授業計画 Syllabus	第 1回：授業概要およびパソコン教室利用等の説明 第 2回：ワードプロセッサ（Word）#1・スタイルと書式 第 3回：Word #2・長編レポート作成 第 4回：Word #3・論文作成 第 5回：Word #4・演習作品の作成と提出 第 6回：表計算ソフト（Excel）#1・データと書式 第 7回：Excel #2・日付と時刻の管理 第 8回：Excel #3・データの検索、抽出 第 9回：Excel #4・データの集計と分析 第10回：Excel #5・簡単なデータベースの作成と利用 第11回：Excel #6・演習作品の作成と提出 第12回：ExcelとWordの連携 第13回：Excelとプレゼンテーションソフト（PowerPoint）の連携 第14回：Excelで作成したデータをWordやPowerPointにまとめた演習作品の作成と提出 第15回：インターネットへの公開と基本的留意事項 　なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用web page上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習と講義
評価方法 Evaluation	平常点（小テストを含む）55%、提出物 45%
履修上の注意 Requirements and policy	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用web page上の教材や授業中に配布したプリントなどを使って欠席した授業の内容を必ず自習しておくこと。なお、評価は出席回数を重視します。
教科書 Textbook(s)	教科書の指定はありません。必要に応じてプリントや授業用web page上のオンラインテキストを使用します。
参考書 Reference(s)	授業中および授業用web page上で紹介します。
備考 Remarks	

－　　－　　－

科目区分	全学共通（情報教育系列）						
科目名	情報リテラシーB／情報リテラシーII						
担当教員	古家　伸一						
学期	後期／2nd　semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1～4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	パソコンの活用（応用） 　この授業では、講義と実習を通して情報リテラシーAで習得した基礎能力を踏まえて、さらに高度あるいは複雑な資料や作品を仕上げ、分析していく応用能力を身につけることを目指します。
授業計画 Syllabus	第 1回：授業概要およびパソコン教室利用等の説明 第 2回：ワードプロセッサ（Word）#1・スタイルと書式 第 3回：Word #2・長編レポート作成 第 4回：Word #3・論文作成 第 5回：Word #4・演習作品の作成と提出 第 6回：表計算ソフト（Excel）#1・データと書式 第 7回：Excel #2・日付と時刻の管理 第 8回：Excel #3・データの検索、抽出 第 9回：Excel #4・データの集計と分析 第10回：Excel #5・簡単なデータベースの作成と利用 第11回：Excel #6・演習作品の作成と提出 第12回：ExcelとWordの連携 第13回：Excelとプレゼンテーションソフト（PowerPoint）の連携 第14回：Excelで作成したデータをWordやPowerPointにまとめた演習作品の作成と提出 第15回：インターネットへの公開と基本的留意事項 　なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用web page上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習と講義
評価方法 Evaluation	平常点（小テストを含む）55%、提出物 45%
履修上の注意 Requirements and policy	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用web page上の教材や授業中に配布したプリントなどを使って欠席した授業の内容を必ず自習しておくこと。なお、評価は出席回数を重視します。
教科書 Textbook(s)	教科書の指定はありません。必要に応じてプリントや授業用web page上のオンラインテキストを使用します。
参考書 Reference(s)	授業中および授業用web page上で紹介します。
備考 Remarks	

- 　 - 　 -

科目区分	全学共通（情報教育系列）						
科目名	情報リテラシーB／情報リテラシーII						
担当教員	古家　伸一						
学期	後期／2nd　semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	1～4	単位数	1.0

授業の目的、概要 Objectives and content	パソコンの活用（応用） 　この授業では、講義と実習を通して情報リテラシーAで習得した基礎能力を踏まえて、さらに高度あるいは複雑な資料や作品を仕上げ、分析していく応用能力を身につけることを目指します。
授業計画 Syllabus	第 1回：授業概要およびパソコン教室利用等の説明 第 2回：ワードプロセッサ（Word）#1・スタイルと書式 第 3回：Word #2・長編レポート作成 第 4回：Word #3・論文作成 第 5回：Word #4・演習作品の作成と提出 第 6回：表計算ソフト（Excel）#1・データと書式 第 7回：Excel #2・日付と時刻の管理 第 8回：Excel #3・データの検索、抽出 第 9回：Excel #4・データの集計と分析 第10回：Excel #5・簡単なデータベースの作成と利用 第11回：Excel #6・演習作品の作成と提出 第12回：ExcelとWordの連携 第13回：Excelとプレゼンテーションソフト（PowerPoint）の連携 第14回：Excelで作成したデータをWordやPowerPointにまとめた演習作品の作成と提出 第15回：インターネットへの公開と基本的留意事項 　なお、授業の進行状況により内容が前後したり変更になることがあります。詳細は授業用web page上でフォローしますので詳しくはそちらを見てください。
参照URL Referance URL(s)	
授業方法 Class type	実習と講義
評価方法 Evaluation	平常点（小テストを含む）55%、提出物 45%
履修上の注意 Requirements and policy	授業を欠席した場合は、次回の授業までに授業用web page上の教材や授業中に配布したプリントなどを使って欠席した授業の内容を必ず自習しておくこと。なお、評価は出席回数を重視します。
教科書 Textbook(s)	教科書の指定はありません。必要に応じてプリントや授業用web page上のオンラインテキストを使用します。
参考書 Reference(s)	授業中および授業用web page上で紹介します。
備考 Remarks	